



正しく分別し決められた時間と場所にゴミ出し

**守ってほしい
「ごみ出し5カ条」**
ごみの分別徹底とあわせて
特に守ってほしい5つのごみ
出しルール「5カ条」にも皆
さん取り組みましょう。

ごみダイエット

みんなで一緒に始めよう！



資源回収で雑誌・雑紙や新聞紙、アルミ缶などを集めリサイクル（細江小学校PTA）

その① 決められた日に決められたごみを
ごみステーションは、地域やアパート管理者などが維持管理をしています。決められた日に決められた場所へ決められたごみを出しましょう。
その② 午前8時までにごみステーションへ
ごみステーションへのごみの持ち込みは収集日の当日の朝（午前8時まで）に行ってください。午前8時以降に出されたごみは回収できません。
その③ 金属や金具がついていれば「金物類」
おもちゃなどの金属や金具がついているものは「プラスチック類」ではなく「金物類」で出しましょう。
その④ プラスチック類で出していないもの
乾電池やライター、プラス

チック製のカミソリは、プラスチック類に出さないでください。
乾電池は回収協力店（電気店など）や公共施設にある回収ボックスへ、ライターはガス抜きして金物類、プラスチック製のカミソリは金物類に出しましょう。
その⑤ 会社や商店は直接搬入か許可業者に依頼
会社や商店から出たごみはごみステーションには出せません。ごみ処理施設に直接搬入するか、市の許可を受けている業者に回収を依頼してください。
食品ロスを減らし環境や家計にやさしく
「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。
国内の食品ロスは、年間約632万トン。これは、世界

市のごみ処理には、一人当たり約1万5800円（平成28年度）の費用が掛かっています。ごみ収集量と処理費用負担の減少に向け、ごみ分別の徹底や食品ロスの抑制など、ごみの減量「ごみダイエット」を皆さんと一緒に始めましょう。

問い合わせ 環境課 増田 ☎（53）2609

「ごみ・資源」の収集量と処理費用

平成28年度の市のごみ収集量は1万3532トン（*1）で、ごみ処理に掛かった総額は7億3317万円でした。総額を市の人口4万6413人（*2）で割ると、一人当たり約1万5800円を負担していることになります。このように、ごみの処理にはたくさんの費用を必要とします。

雑紙減量大作戦など、ごみの分別の徹底がごみを減量させるダイエットや、皆さんの費用負担の軽減につながります。また、地域や学校などで行われる資源回収（*3）への協力もごみダイエットにつながります。

限りある資源を有効に使うため、リデュース（減らす）・リユース（繰り返し使う）・リサイクル（再資源化する）の3Rを実践しましょう。



市役所（両庁舎ロビー）に設置されている衣類回収ボックス

*1 吉田町牧之原市広域施設組合（榛原地域）と牧之原市御前崎市広域施設組合（相良地域）の合計。
*2 平成29年3月末現在の人口。
*3 平成28年度の資源回収実績総重量は、69万56キログラム（紙類、古布「衣類」、アルミ）

の食糧援助量の約2倍に相当します。また、食品廃棄物は水分が多いため、削減することとで燃却エネルギーや二酸化炭素の削減など、環境負荷の軽減につながります。家計にもやさしい食品ロスを減らすための日常生活でのポイントを紹介します。

ポイント①「買い物」

▼買い物に行く前に冷蔵庫の中のものメモしておく

▼使い切れる分だけ購入する
▼本当に必要なか検討する（特売などで買いすぎない）
ポイント②「冷蔵庫の収納」

▼冷蔵庫の収納位置を決める（段によって置くものを分けるなど）
▼賞味期限・消費期限の近いものから手前に置く
▼透明な容器に食品を入れて外から中身がわかるようにする

ふじのくに食べきりやっとな！キャンペーン

【期間：平成29年7月17日～平成30年1月31日】

食品ロス、食品廃棄をできるだけ少なくしたい！「もったいない」を実践するために、静岡県では「食べきり（完食）」をテーマにしたキャンペーンをスタートします。残さず食べて、お得な割引や豪華景品をゲットしよう！詳しくは、専用ホームページをご覧ください。

ふじのくに 食べきり で 検索



「ふじのくに食べきりやっとな！キャンペーン」ホームページトップ